

令和5年11月吉日

北九州市発行の「サステナビリティボンド」への投資について

公益財団法人北九州観光コンベンション協会（理事長：津田 純嗣、以下「当協会」という）は、このたび、北九州市が発行するサステナビリティボンド（第3回北九州市サステナビリティボンド10年公募公債（北九州市SDGs未来債）、以下「本債券」という）への投資を決定しましたので、お知らせします。

「サステナビリティボンド」とは、調達資金の用途が、環境改善効果があること（グリーン性）及び、社会的課題の解決に資するものであること（ソーシャル性）の双方を有する債券です。

本債券は、ICMA（International Capital Market Association／国際資本市場協会）が定義する「ソーシャルボンド原則2023」、「サステナビリティボンドガイドライン2021」、「グリーンボンド原則2021」及び対象事業のグリーン性に関しては「環境省グリーンボンドガイドライン2022年版」、「金融庁ソーシャルボンドガイドライン2021年版」に適合する旨、株式会社格付投資情報センター（R&I）からセカンドオピニオンを取得済です。

本債券の発行による調達資金は、洋上風力発電関連事業、豪雨災害から市民を守るための防災対策事業、災害廃棄物処理への対応、自然環境の保全、環境性能の高い公共施設の新設・改修、公共施設の更新・改修、子育て・教育環境の整備等の事業に充当され、国連の持続可能な開発目標（SDGs）*の達成にも貢献します。

当協会は、本債券を始めとしたSDGs債への投資を継続的に実施することで、今後も環境及び社会の課題解決につながる事業やSDGsの達成に貢献する事業を資金面からサポートし、社会的責任を果たして参ります。

<本債券の概要>

銘柄	第3回北九州市サステナビリティボンド10年公募公債（北九州市SDGs未来債）
年限	10年
発行額	100億円
発行日	令和5（2023）年9月22日

* 持続可能な開発目標（SDGs）とは、平成27（2015）年9月の国連持続可能な開発サミットにて採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が掲げる、加盟各国が令和12（2030）年までに達成すべき17の目標と169のターゲットのこと